

第5期上下水道事業経営委員会（第2回）の主な質疑

令和5年2月22日（水）9時30分～10時45分

WEB会議併用での開催

質 疑	答 弁
<p>【議事 令和5年度高岡市上下水道事業予算（案）について】</p> <p>【議事 五位配水区水道施設整備事業（案）について】</p> <p>【議事 工業用水道事業の料金見直しに伴う条例改正（案）について】</p>	
<p>A 委員</p>	<p>令和5年度に水道スマートメーターの実証実験範囲の拡大を予定しているが、令和4年度の実証実験により見えてきた成果・課題は。</p> <p>また、来年度の予定は。</p>
	<p>上下水道局</p> <p>今年度の実証実験では、福岡沢川地区にて様々なメーカーの通信形態を用いた実験を行っている。来年度は、今年度の実証実験結果の検証を行った後、福岡沢川地区の他に市街化区域等の難検針地域での検証を検討している。</p>
	<p>上下水道局</p> <p>令和4年度の実証実験では、漏水等が疑われる事案等の際はスマートメーターによりリアルタイムで状況を確認できることの意義は非常に大きいことを確認できた。</p> <p>また、積雪の深い箇所に設置したメーターも問題なく通信可能なことを確認でき、今後はこのような技術を有効活用し効率的な運営に努めていきたい。</p>
<p>B 委員</p>	<p>「高岡の水」がアルミ缶に変更される時期はいつか。</p>
	<p>上下水道局</p> <p>令和5年12月までには製品として出来上がる予定である。</p>
<p>C 委員</p>	<p>本年10月1日から適格請求書（インボイス制度）が開始される。適格請求書の発行義務化に向けた発行事業者の登録・番号の周知は進んでいるか。</p>
	<p>上下水道局</p> <p>インボイス制度については、事業者登録及び番号の周知、システムの対応等全て実施済みである。</p>
<p>D 委員</p>	<p>「高岡の水」をペットボトルからアルミ缶へ変更することは、SDGSの観点からは非常に好ましいことであるが、費用対効果の観点からどのようなマーケティング戦略を持っているのか。</p> <p>また、使い勝手の観点からはペットボトルの方が優れているようにも感じるが、需要についての調査は行っているのか。</p>
	<p>上下水道局</p> <p>アルミとペットボトルのリサイクル率を比較すると、水平リサイクル率（使用済み製品を原料として、同じ種類の製品に作りかえるリサイクル）がアルミ缶 約67%、ペットボトル 約20%と大きな差がある。</p> <p>需要については、利点として消費期限がペットボトルの2年からアルミ缶で10年となる点がある。消費期限が延びることで、本市危機管理部門と協議のうえ、各避難施設の備蓄水として活用することで収支の改善を図る。また、発注本数を増やすことで、ペットボトルよりアルミ缶の製造単価を安く抑えることができる。</p>

E 委員	<p>カーボンニュートラルの計画は、高岡市全体の取り組みの一部を上下水道局の事業として行っているのか、上下水道局が独立した形で行っているのか。</p> <p>また、太陽光パネルの導入計画について教えていただきたい。</p> <p>省エネに関して、太陽光パネルや LED 化により使用エネルギーがどのくらい省エネルギー化されるのか。</p>	上下水道局	<p>カーボンニュートラルの取り組みについては、市全体のものと局単独のもの両方がある。市全体の取り組みとしても、太陽光パネルの設置は計画中だが、今回上関に設置する太陽光パネルは局単独の事業である。</p> <p>上関庁舎は、災害時の上下水道の拠点となるため、例えば、太陽光の電力を電力喪失時に活用することや電気自動車に活用する等の取り組みを検討している。</p>
		上下水道局	<p>市全体で環境に関する計画を作成中であり、上下水道局も関連部局としてゼロカーボンに向けた取り組みを進めていく。</p> <p>上下水道の分野では、下水処理場の電気使用量は非常に大きく全てをゼロにすることは難しい。下水道施設では、機器改善に伴い電気使用量の削減にも取り組んでいる。</p> <p>また、汚泥等を県の流域下水道と一緒に処理することによる肥料化等の再利用も検討されている。地域全体での取り組みの中に上下水道局の取り組みを組み込んでいくことになる。</p>
A 委員	<p>工業用水の料金見直しについて、料金が非常に安い理由を教えていただきたい。</p> <p>また、料金の安さをアピールし企業誘致などの需要を増やすための取り組みについて教えていただきたい。</p>	上下水道局	<p>料金が安い理由は、工業用水の元になる水の処理過程が関係している。工業用水は、庄川の表流水を石瀬のポンプ場に引き込み、砂等の不純物を若干取り除き送水している。富山県では、ある程度浄化した水を送水しているため比較して高くなっている。</p> <p>企業誘致については、高岡市の工業用水の近くを県の工業用水も流れており、需要が分かれているという側面がある。設備投資もかなりの金額になってしまうため、営業活動は行っているが、なかなか新規で利用いただけないのが現状である。</p>

【報告 令和4年度応援活動（応急給水）について】		
【報告 1月24日からの寒波による水道管の凍結被害について】		
D 委員	今回の寒波では、富山県内でも水道管の破裂などの被害が多くあった。上下水道局としても被害を最小限に抑えることが重要であり、そのためには教育指導と情報提供が重要である。	上下 水道局 高岡市では昨年末の広報にて、保温材の巻きつけ等をお願いする案内を行った。各家庭の自己所有物件については、家庭ごとで状況が違っており各家庭でも注意していただくことが重要である。 今回の寒波では、空き家対策がクローズアップされた。家を長期間空ける場合には、元栓を閉めていただくといった対応も今後案内していく必要があると考えている。 空き家の問題については、市の担当部局と連携をとりながら実行していきたい。
C 委員	今回の寒波により能登地区で大規模な断水があったが、能登地区で被害が起こり易い理由があるのか。	上下 水道局 能登地区については、平成29年度にも大きな被害があった。その際の検証結果として、能登地区は山と谷が続く独特の地形をしており、谷ごとに小さな配水池がある。その配水池の容量が小さいため、少数でも漏水があると配水池が全て空になってしまうことがある。このような施設が多くあるため、被害が多いと聞いている。 今回の寒波では、空き家に凍結が集中したとクローズアップされているが、その点についての結論はまだ出ていない。

【その他ご意見・ご感想】		
A 委員	「高岡の水」におまけとしてマンホールカードのコースターをつける等も販促ツールの1つとしていいのではないかと。	上下 水道局 マンホールカードのデザインは、富山大学の生徒に授業の一環としてデザインしてもらったものであり、今後もいろいろな使い方を検討していきたい。